

発言 NO 21

受付 NO 22
令和2年 11月 19日
10時53分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 上野 茂

答弁を求める者 (市長) 教育委員会委員長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員地域地

発言項目及び要旨

1、資源の有効活用について

(1) 農山漁村の豊かな自然の活用について

① 豊かな自然は、文化、人々との交流を楽しんで、地域の食材が味わえ、訪れた都市住民は憩いや、癒し、田舎と、海の良さを十分に満喫することができ、そのことで活気と経済効果が生じるとともに地域文化に育まれた豊かな暮らしを再確認することができる。市も新たに取組もうとしている動きを支援するとともに、地域と連携して、中山間地域の自然環境・歴史・文化や宿泊場所や体験メニューなどのガイドの養成など、グリーン・ツーリズムなどの取り組みを積極的に支援していくべきと思いますがご所見を伺います。

(2) 森林資源の活用について

① 地域一体になった森づくりについて

全国3位の森林県・木材の需要が低迷し森林経営意欲の減退による荒廃森林が増加している。

森林は木材生産のみならず、水源涵養、災害防止機能や近年では地球温暖化防止のためのCO₂吸収源など様々な公益機能を有しており広葉樹を含め、環境に配慮しながら多様な樹木を育成していく必要がある。そのためには森林と産業のつながりを回復し、木を育て、森を守る循環を再生していくことが必要であると考えます。ご所見を伺います。

2、島根あさひ社会復帰促進センターについて

11月1日に上映された島根あさひ社会復帰促進センターを取り上げた映画「プリズン・サークル」日本一再犯率の低い刑務所を、市長も見られたとお聞きしました。

① 訓練生の新たな価値観や生き方を身につけていく姿を見て

市として再犯防止にむけ、立ち直ろうとする人を受け入れる社会を醸成していく事が大

切であり、市としてもっと前向きに取り組むべきであると思うがご所見を伺う。

3、介護現場の崩壊を防ぐ仕組みについて

第3波と言われる国内の一日の感染者が2000人をこえた。

浜田市の介護施設で新型コロナウイルス感染症が発生した場合、業務の増加や職員自身の自宅待機などで、職員が不足することが考えられる。こうした事態が身近に予想されるいま、介護現場の崩壊を防ぐ手立てとして、施設相互に職員を派遣する仕組みが必要で、浜田市にある介護施設は大丈夫でしょうか？ 大規模法人では施設同士で人材を補充し合うことが可能だが、小規模法人ではなかなか難しい、そのため福祉法人が連携して職員を派遣し合うことが必要と考える。

① 発生した場合の介護施設等の連携について伺う。

4、安全・安心なまちづくりについて

近頃また、米軍機の低空飛行による騒音の苦情を多く聞くようになった。

先日も浜田市内から野球場へ来ておられた方から初めて聞く大きな騒音にびっくりしてされた。

① 今まで行ってきた県や構成市町村との国に対する訓練中止要望活動、選挙前以外は全く効き目ありませんが、今後に向けて市長のご所見をお尋ねします。

② 旭支所前バス停のトイレ設置要望が多い、看板等で旭支所に開放したトイレがあることを知らせてあるが、お年寄りや途中坂もあり利用しにくい、今後の交通再編計画と合わせて市の考えを伺う。